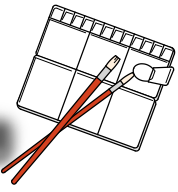




「山の日」制定記念

もり

第11回森林のアートギャラリー



1 森林のアートギャラリーとは、多様な森林の役割や重要性を生徒が自ら考え絵画で表現することにより森林の大切さに気づいてもらい、またその作品を九州森林管理局庁舎外堀を使って公開することにより、国民の皆さんの森林への理解・関心を高めることを目的とし実施しています。



表彰式

2 平成27年度は、8月11日が「山の日」として国民の祝日に制定され来年度から施行されることから、山の日意義は「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」とされており国民の皆様へ理解を促していくことが重要なため、「山の恩恵」をテーマに市内の中学生を対象に作品を募集しました。

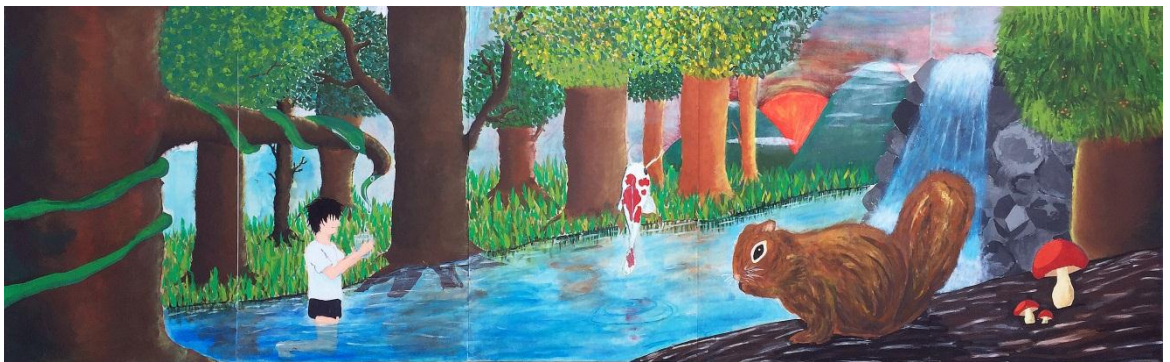
なお、森林のアートギャラリーの実施・運営につきましては、公募により（一財）日本森林林業振興会熊本支部が主体となり実施しています。



除幕式

3 熊本市教育委員会の協力のもと審査した結果、入選作品は、次のとおりです。（最優秀賞1点・優秀賞5点）

（1）最優秀賞



作品名 「森林がつなぐ命」 制作者 熊本市立 清水中学校 美術部 2年

私たちは「恩恵」という言葉から水、動物、植物の3つを考えました。最近では森の減少が問題になっていますが、森林は生きていくために必要なものを与えてくれるかけがえのない存在です。

画面左側の少年は森林から命の水を受け取っています。リスは、どんなに小さな命でもたくさんの恵みを受けて生きるということを表すために大きく描きました。

私たちは森林を大切にしなければなりません。その思いを込めてこの絵を描きました。

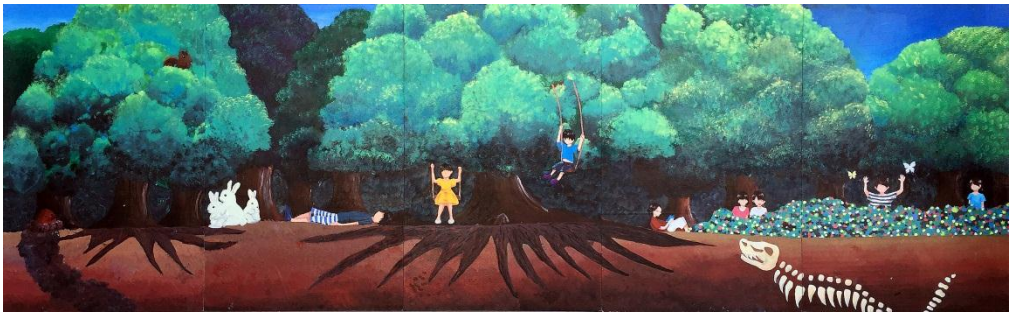
(2) 優秀賞 (学校名五十音順)



作品名 「自然の恵み」 制作者 熊本市立 楠中学校 美術部 1年



作品名 「飛べ、森から生まれたシャボン玉」 制作者 熊本市立 江南中学校 美術部 1年



作品名 「森に囲まれた私たち」 制作者 熊本市立 三和中学校 美術部 2年



作品名 「山からの恵み」 制作者 熊本市立 託麻中学校 美術部 1年



作品名 「気がつけば、いつも支えてくれている～」 制作者 熊大教育学部 附属中学校 美術部 1・2年